

7) 広域骨格景観軸

①位置や特性の概要

本市中央を東西に横断する国道464号は、北総線と一体となり国内でも最大級の広域骨格景観軸が形成されています。

本景観軸は、市街地と里山、田園地域を貫き、沿道には大型商業施設や谷津、印旛沼などがあり多様な景観を見ることができます。

駅前広場や歩道沿いには市民活動により育成・維持管理された草花が見られる一方で、車道や歩道沿いに繁茂する雑草などが一部に見られます。

また、道路には曲線を活かした橋梁、擁壁などの大規模な構造物が見られます。



②現況特性写真



一体となった国道 464 号と北総線



長大なコンクリート擁壁と半円形の模様が施された擁壁



多様なデザインの陸橋



谷津の前面にある白系と茶系の防護柵



沿道の商業施設



沿道の大型商業施設



沿道の貯水タンク



陸橋から富士山への眺望



車窓から見た印旛沼への眺望



県立印旛明誠高校周辺の市民活動団体が植栽した草花



露出する駐車場を修景（遮蔽）している樹木



歩道脇の雑草と道路側に露出した設備機器類



沿道に立ち並ぶ独立広告物や商業施設入口の集約された独立広告物



掘割部のメガソーラー



沿道の商業施設の夜間景観

③類型別景観形成方針

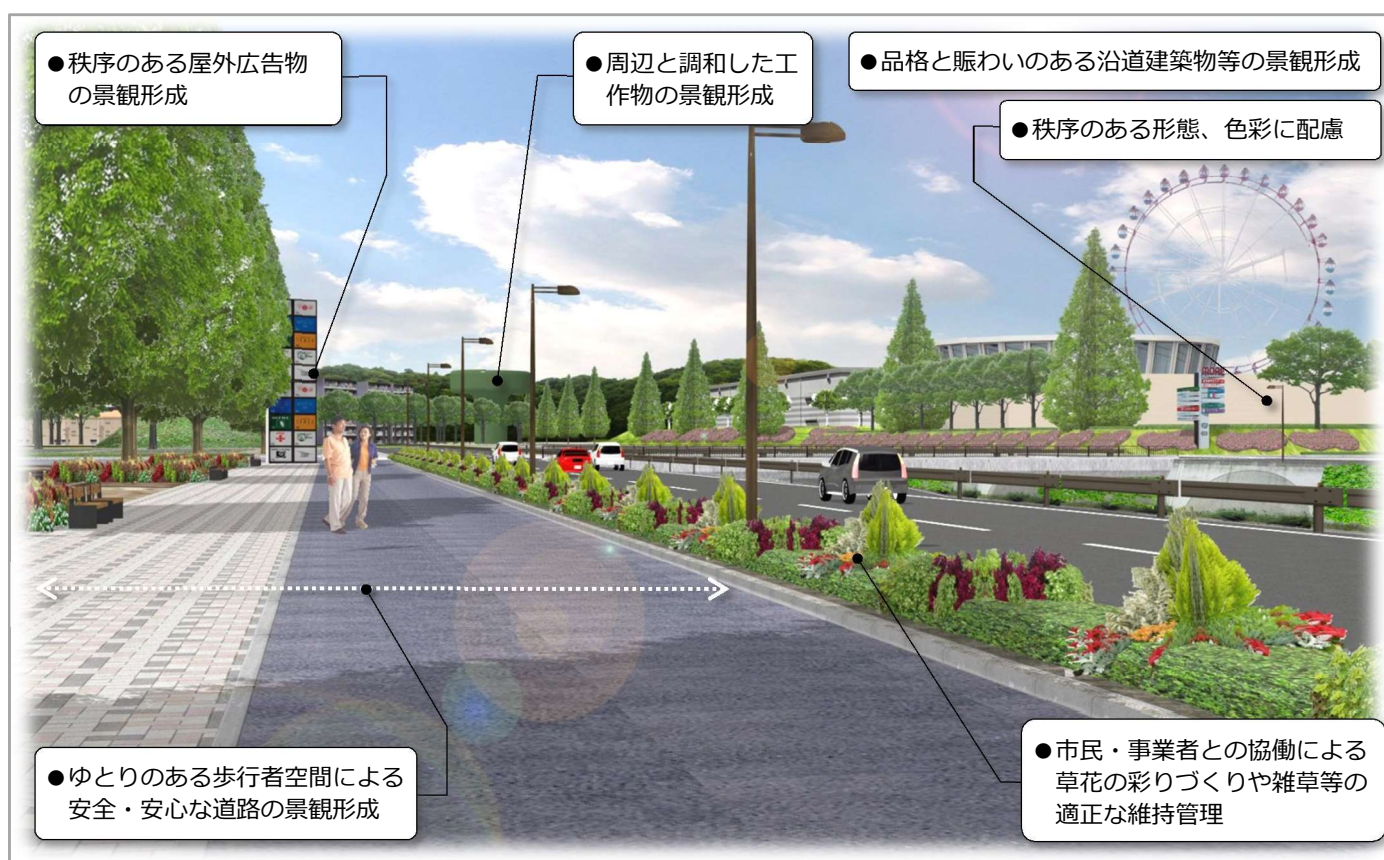
1. 大規模空間軸にふさわしい品格と賑わいのある景観形成

- 本市を代表する広域骨格景観軸として、品格と賑わいのある景観の形成に配慮する。
- 道路・鉄道及び沿道・沿線における建築物、工作物、屋外広告物などは、秩序ある景観の形成を図る。
- 空間軸を活かした樹木や草花の景観の形成と維持管理を考慮する。
- 橋梁や擁壁などの大規模構造物による圧迫感や無機質な要素の軽減を考慮した景観の形成を図る。

2. 人にやさしい安全・安心な道路の景観形成

- 歩行者などの快適な通行を考慮した景観の形成を図る。
- 防犯や夜間景観を考慮した景観の形成を図る。

④景観形成のイメージ図



⑤特色のある事例



白井市（季節を象徴する北総線沿いの桜並木）



千葉市（壁面緑化）



つくば市（学園西大通りの大規模空間軸）

8) 道路景観軸

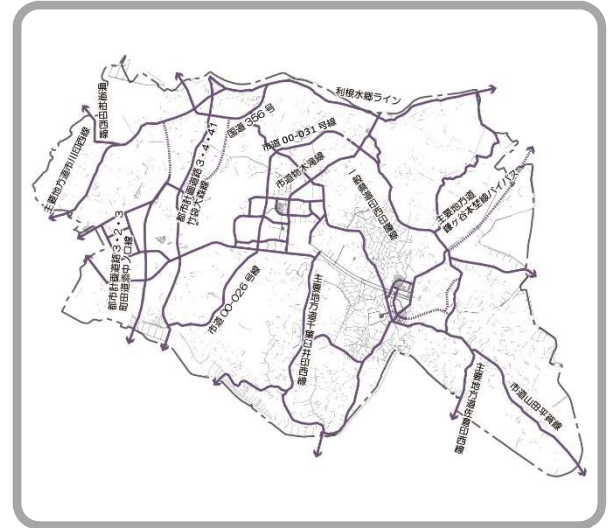
①位置や特性の概要

本市の道路は、都心と成田市方面を結ぶ国道464号のほか、銚子市と我孫子市間を結ぶ国道356号が市北部を通っており、これらと連結するように、主要地方道や一般県道などが南北に延びています。

本道路景観軸は、上記の国道464号を除く幹線道路、景観上特徴的な道路と、これらの沿道とします。

道路景観として、牧の原のメタセコイアの並木道や鎌苅のあじさい通りなどがあり、市役所周辺の国道356号などの街路樹には実の成るヤマモモが植栽されています。

一方、これらの沿道では、一部の建築物や屋外広告物において形態、色彩に課題が見られるほか、老朽化した廃屋や露出した土石の堆積などが一部に見られます。



②現況特性写真



ゆとり空間と緑が多いビジネスモール通り



牧の原の街路樹（メタセコイア）



市役所周辺道路の実のなる樹木（ヤマモモ）



ビジネスモールの歩道に植栽された樹木（サルスベリ）



鎌苅のあじさい通り



ビジネスモールの歩道に設置されたオブジェ



大森の歩道橋



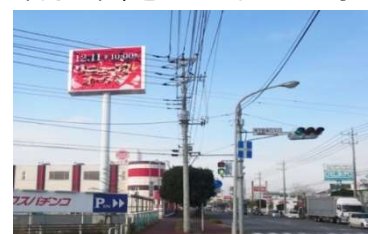
平岡の茶系色のガードレール等



国道 356 号沿道の商業施設



沿道に立ち並んだ独立広告物



国道 356 号沿道のデジタルサイネージ



沿道の廃屋



沿道側に露出している土石堆積場



木下街道の百庚申



木下街道周辺の町家造りの建築物

③類型別景観形成方針

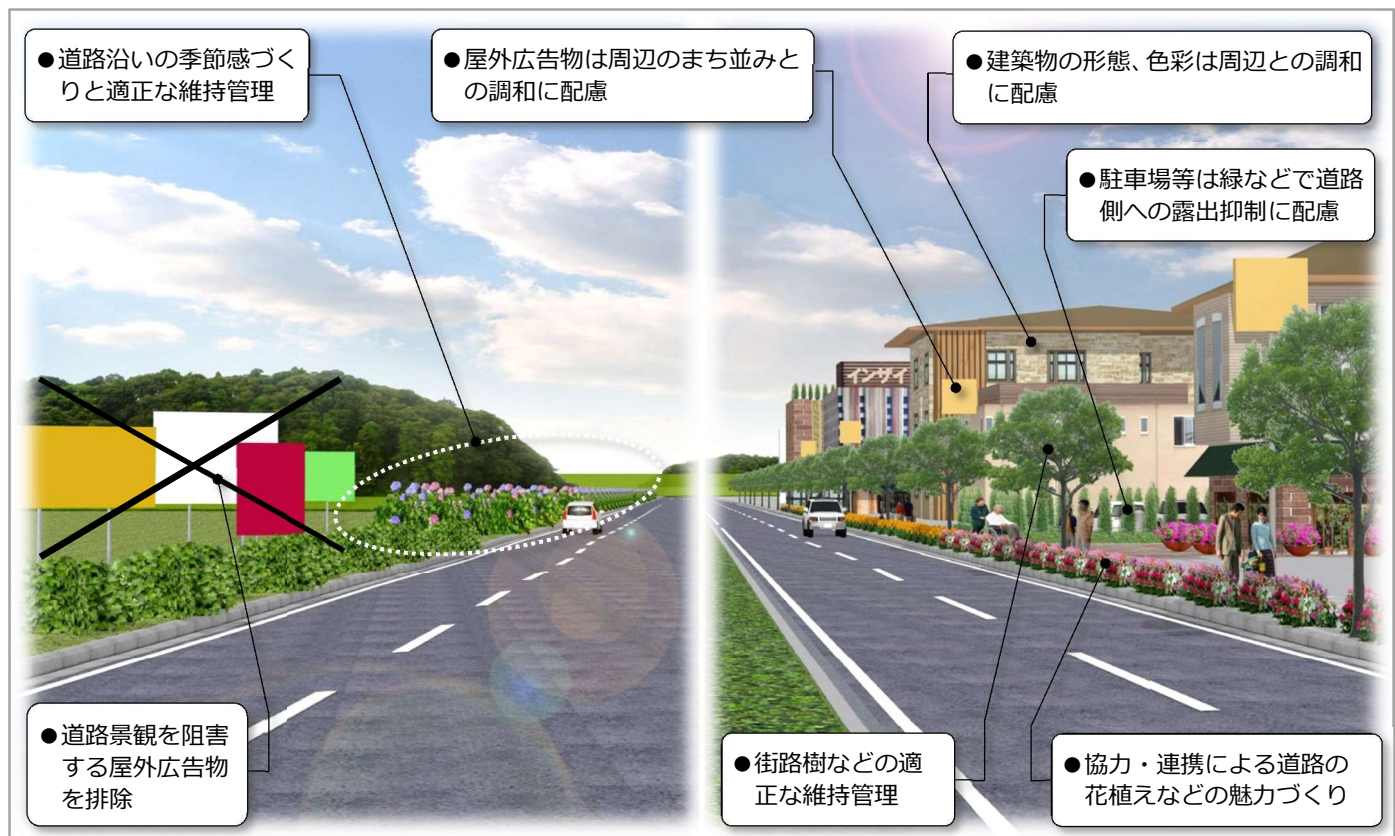
1. 秩序ある道路及び沿道の景観形成

- 安全・安心のもと、快適な道路景観の形成に配慮する。
- 街路樹や草花などは、適正な維持管理に努め、緑豊かで潤いのある道路景観の形成に配慮する。
- 良好な眺望が望める場所がある場合は、視点の場の確保に配慮する。
- 沿道の建築物や工作物、屋外広告物は、まち並みや自然環境と調和する景観の形成を図る。
- 沿道景観を阻害する廃屋や資材置き場などは、適正な維持管理や修景を図る。

2. 特色を活かした道路及び沿道の景観形成

- 並木道やあじさい道、サイクリングができる道路など、市民から親しまれている特徴的な道路は、魅力の向上とともに適正な維持管理に配慮する。
- 木下街道周辺に残る町家や庚申塚など、往時を偲ばせる歴史的資源の景観の形成を考慮する。

④景観形成のイメージ図



⑤特色のある事例



新宿区（分離帯部の季節の彩り）



横浜市（安全・安心のもと車道沿いのプランターと防護柵）



成田市（市民の協力・連携による草花の彩り）

9) 鉄道景観軸

①位置や特性の概要

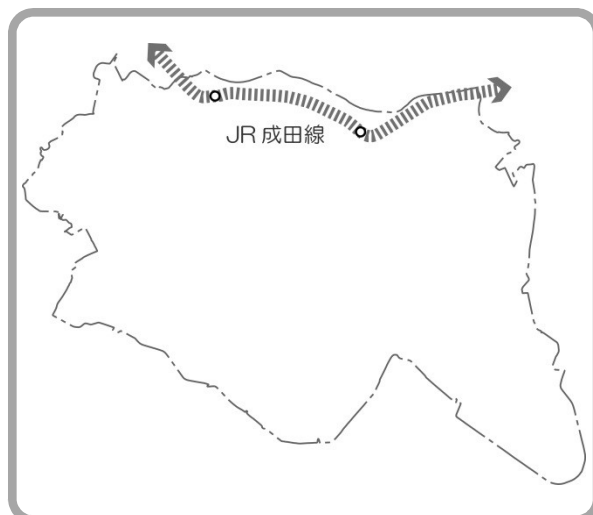
本市の鉄道は、北部を東西に横断するJR成田線と、都心と成田空港方面を結ぶ北総線があります。本鉄道景観軸はJR成田線とその沿道とします。

JR成田線は、明治30年に開通し、都心から成田山新勝寺まで参拝客を運ぶ主要な鉄道となっていました。

明治34年に木下駅、小林駅が開業し、利根川水運に代わる人々の足として、東京行商にも広く利用されてきました。

木下駅や小林駅周辺とこの沿線では、低層で落ち着いたのある住宅地や樹林地が見られます。

また、発作地域や将監地域、安食ト杭地域では、車窓から広がりのある田園景観が望めるとともに、手賀川、将監川、長門川の水辺景観を望むことができます。



②現況特性写真



春の弁天川と鉄道橋



安食ト杭の鉄道橋



木下東の鉄道敷



木下東の緑に囲まれた鉄道敷



車内から安食ト杭の田園への眺望



車窓から小林の住宅への眺望



安食ト杭の鉄道敷



木下駅の鉄道敷



木下駅舎から鉄道敷への眺望



小林駅舎から鉄道敷への眺望



車窓から将監の田園への眺望



小林駅ホームから鉄道敷への眺望



発作の手賀川に架かる鉄道橋と田園

③ 類型別景観形成方針

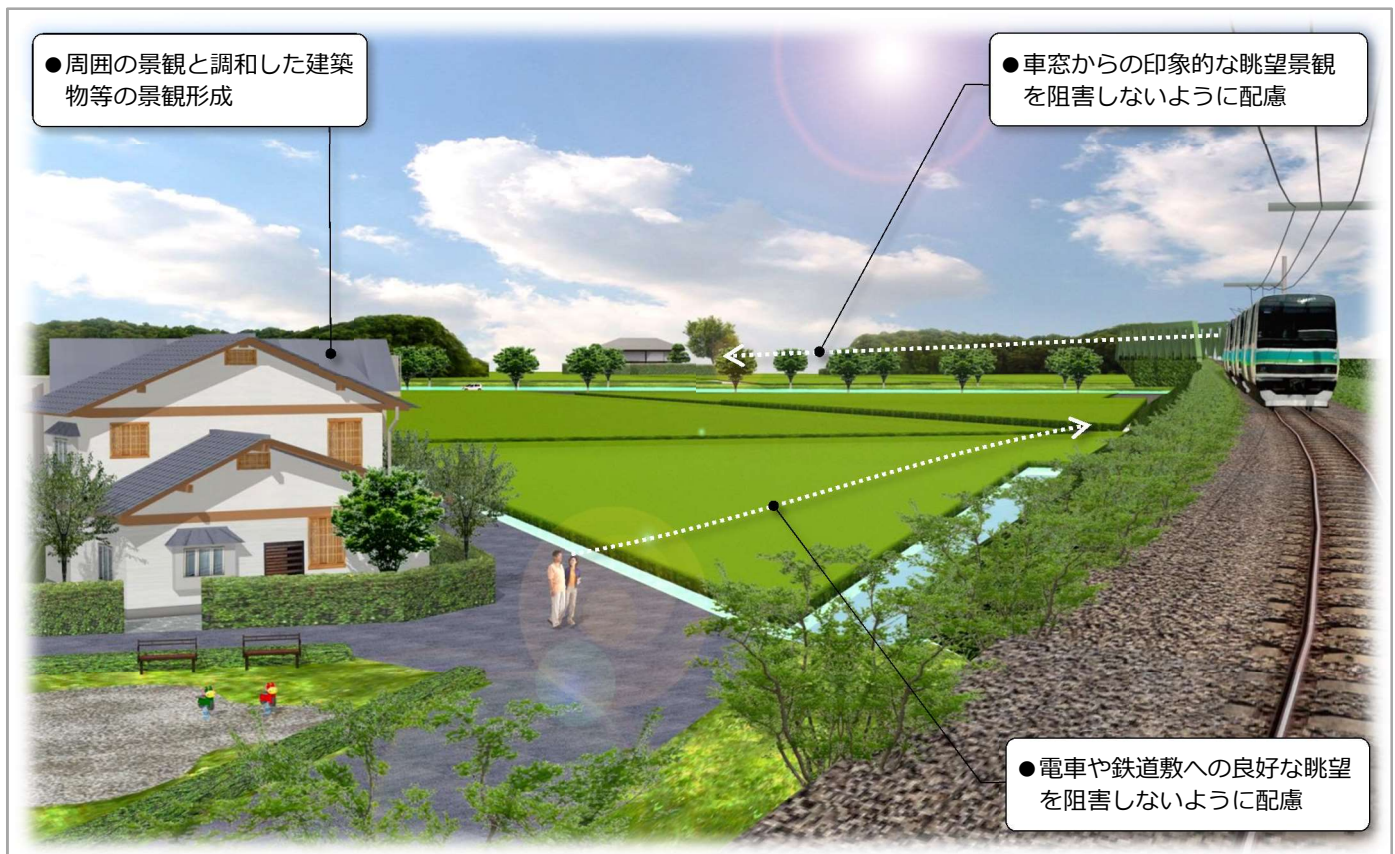
1. 秩序ある鉄道及び沿線の景観形成

- 鉄道及び沿線における建築物、工作物、屋外広告物などは、秩序ある景観の形成を図る。
- 橋梁や擁壁などの大規模構造物による圧迫感や無機質な要素の軽減を考慮した景観の形成を図る。

2. 緑潤う沿線の景観形成

- 車窓などから望見できる田園や里山、水辺への良好な眺望の景観の形成を考慮する。

④ 景観形成のイメージ図



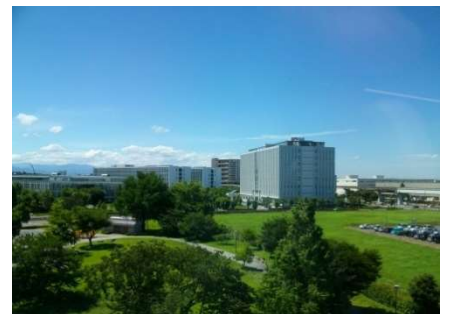
⑤ 特色のある事例



印西市（安食ト杭の田園の印象的な景観）



印西市（小林駅の鉄道敷軸線の眺望）



立川市（多摩都市モノレールからの眺望）

10) 水辺景觀軸

①位置や特性の概要

本市は、北部に利根川、東部に北印旛沼、南部に西印旛沼、北西部に手賀沼を有し、豊かな水辺に囲まれています。また、市内には亀成川、将監川、弁天川、手賀川などが縦横に流れ豊かな環境を育んでいます。

木下駅周辺では、六軒川、弁天川、手賀川を船で巡る「ぶらり川めぐり」が景観を楽しめる観光スポットとなっており、新・印西八景にも位置づけられています。

また、周辺に自然が多い場所では多自然型護岸や蛇籠護岸など、自然との調和に配慮した整備が見られます。

このほか、印旛捷水路では、周辺の緑から市井橋の橙色が際立ち、特徴的な景観となっています。



②現況特性写真



利根川



手賀川



下手賀川



長門川



将監川



龜成川



師戸川



戸神川（蛇籠護岸）



和泉川



印旂捷水路



手賀川と弁天川の合流地点



弁天川の釣りの風景



茶系色の防護柵（弁天川、右上・手賀川）



手賀川の水管橋



下手賀川のコブハクチョウ

③類型別景観形成方針

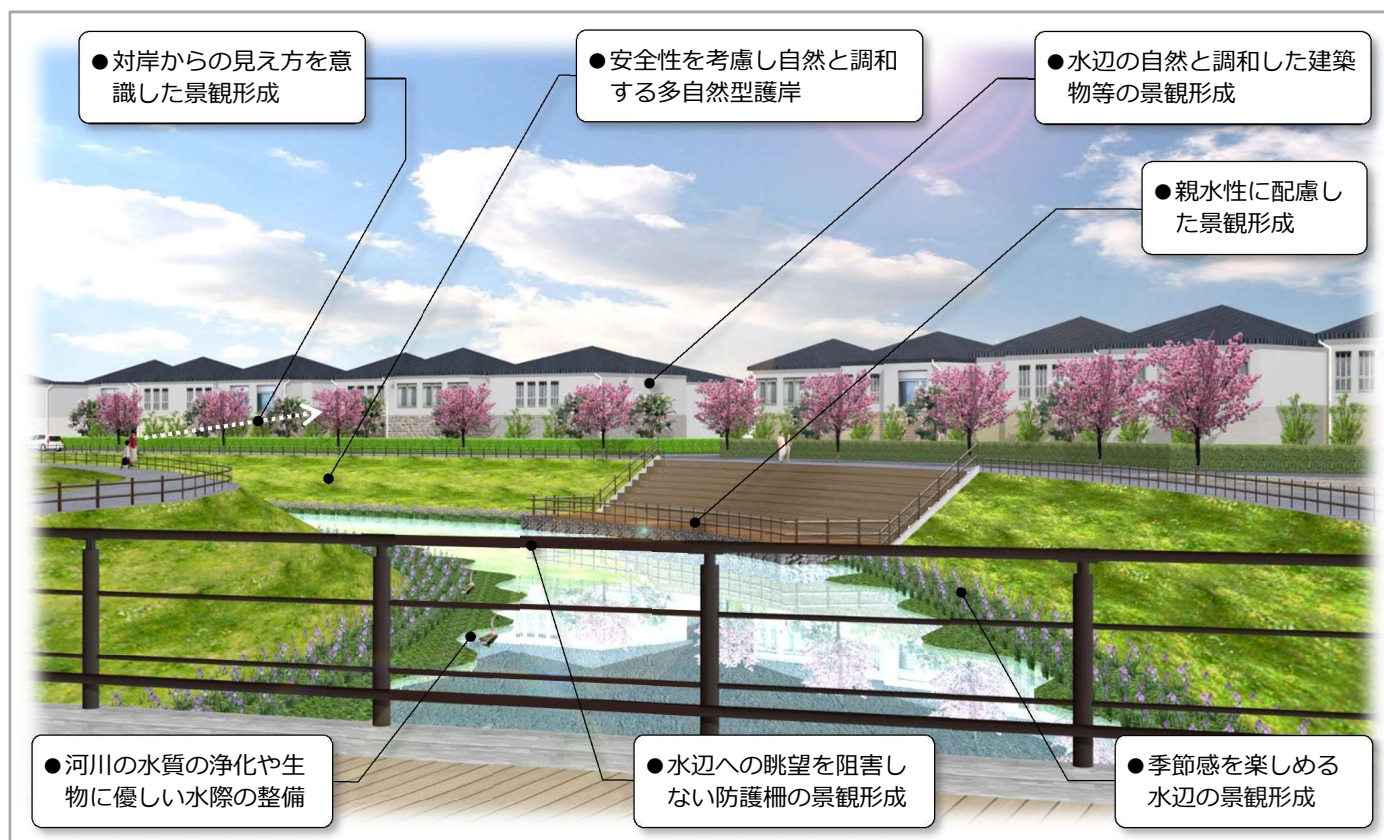
1. 潤いや親しみが感じられる河川軸の景観形成

- 対岸からの見え方を意識した景観形成に配慮する。
- 河川機能の確保のもと、潤いや彩りのある緑の景観の形成に配慮する。
- 視点場や親水性のある水辺景観の形成を考慮する。

2. 生物にやさしい水辺の景観形成

- 河川の水質の保全・浄化と生物との共存を考慮した景観の形成を図る。
- 水辺や緑のネットワークを意識した景観の形成に配慮する。

④景観形成のイメージ図



⑤特色のある事例



越谷市（水辺への眺望に配慮した防護柵や通路）



朝霞市（季節を印象づける桜並木）



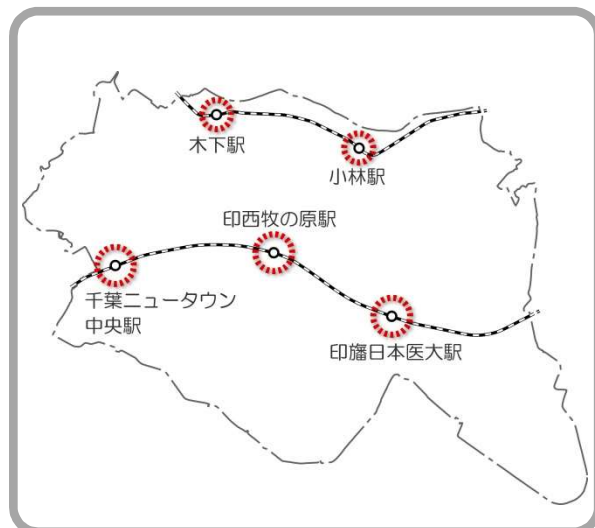
成田市（親水性への配慮）

11) 駅景観拠点

①位置や特性の概要

千葉ニュータウン中央駅や印西牧の原駅、印旛日本医大駅の周辺には、大型商業施設などの賑わいのある景観や、オープンスペースと緑、建築物が調和した業務地の景観、落ち着いた住宅地の景観が見られます。

また、木下駅や小林駅の周辺では地域に根ざした商店街と住宅地の景観が見られ、木下駅や小林駅の駅舎は、地域の特徴的な景観となっています。なお、小林駅前では大正時代から東京行商の歴史を残す朝市が行われており、近年では夕市も行われています。



②現況特性写真



千葉ニュータウン中央駅駅舎（北総線）



印西牧の原駅駅舎（北総線）



印旛日本医大駅駅舎（北総線）



木下駅駅舎（JR 成田線）



小林駅駅舎（JR 成田線）



千葉ニュータウン中央駅北口駅前広場



千葉ニュータウン中央駅南口駅前広場



木下駅北口駅前広場



小林駅前の夕市



千葉ニュータウン中央駅前の花壇と模様が施された舗装



千葉ニュータウン中央駅前の市民活動による花壇



小林駅前のふれあいパラソル



千葉ニュータウン中央駅周辺の集合住宅



千葉ニュータウン中央駅周辺の駐車場施設



千葉ニュータウン中央駅前の商業施設

③ 類型別景観形成方針

1. 各地域の玄関口にふさわしい、おもてなしの表情のある景観形成

- 駅周辺の建築物や工作物、屋外広告物などは、駅前の顔にふさわしい景観の形成を図る。
- 駅周辺では、歩行者の目線を意識し、賑わいや親しみを感じられる景観の形成を図る。
- 駅前広場では、地域特性に応じてシンボルツリーや草花などによる景観の形成に配慮する。

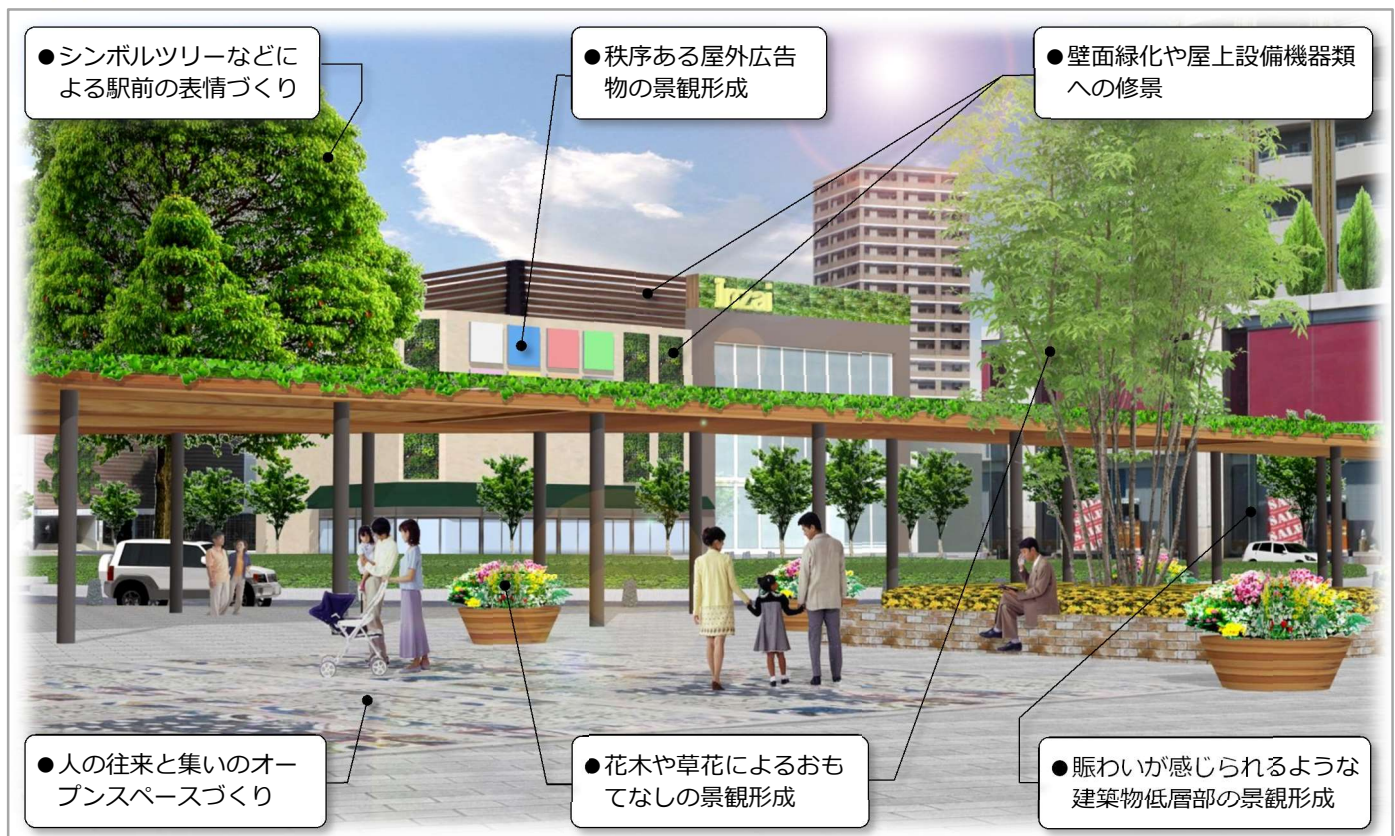
2. 人が賑わい、楽しむ景観形成

- 人が集い、賑わい、楽しむことができるオープンスペースや動線を考慮した景観の形成を図る。

3. 地域活動を活用した駅周辺の景観形成

- 市民・事業者の協力・連携を促し、駅周辺の景観の形成と維持管理活動の向上を図る。

④ 景観形成のイメージ図



⑤ 特色のある事例



上：越谷市（のびやかな駅舎と豊かなオープンスペース、緑の駅前）

右：三郷市（イベントにより、人を誘い賑わいのある駅（写真中央）と連動した公園）



駅に連動した公園（三郷市）



大宮市（特徴的なシンボルツリーや低木、草花のある駅前とシンプルなデザインの駅舎）

12) シンボル景観拠点

①位置や特性の概要

本市には、印西の景観を代表する新・印西八景をはじめ、自然や文化財、公園などシンボルとなる良好な景観資源が市内各地に分布しているほか、印旛沼や利根川、筑波山、富士山などを望む眺望点があります。

本景観拠点は、上記の景観資源及びその周辺と眺望点を対象とします。

景観資源として谷津や巨樹・古木、寺社、古墳群、遺跡、公園などがあり、眺望点として大六天や徳性院、利根川の堤防、牧の原公園のひょうたん山などがあります。



②現況特性写真



(牧の原公園の) コスモス畑 (新・印西八景)



いんざいぶらり川めぐり (新・印西八景)



印旛沼夕景 (新・印西八景)



木下万葉公園 (新・印西八景)



大六天からの眺望 (新・印西八景)



結縁寺の風景 (新・印西八景)



小林牧場の桜花 (新・印西八景)



吉高の大桜 (新・印西八景)



夜明けの利根川 (新・印西八景)



徳性院から印旛沼と富士山への眺望



木下貝層



宝珠院観音堂 (光堂)



米福寺薬師堂



道作古墳群 (道作1号墳)



松山下公園

③類型別景観形成方針

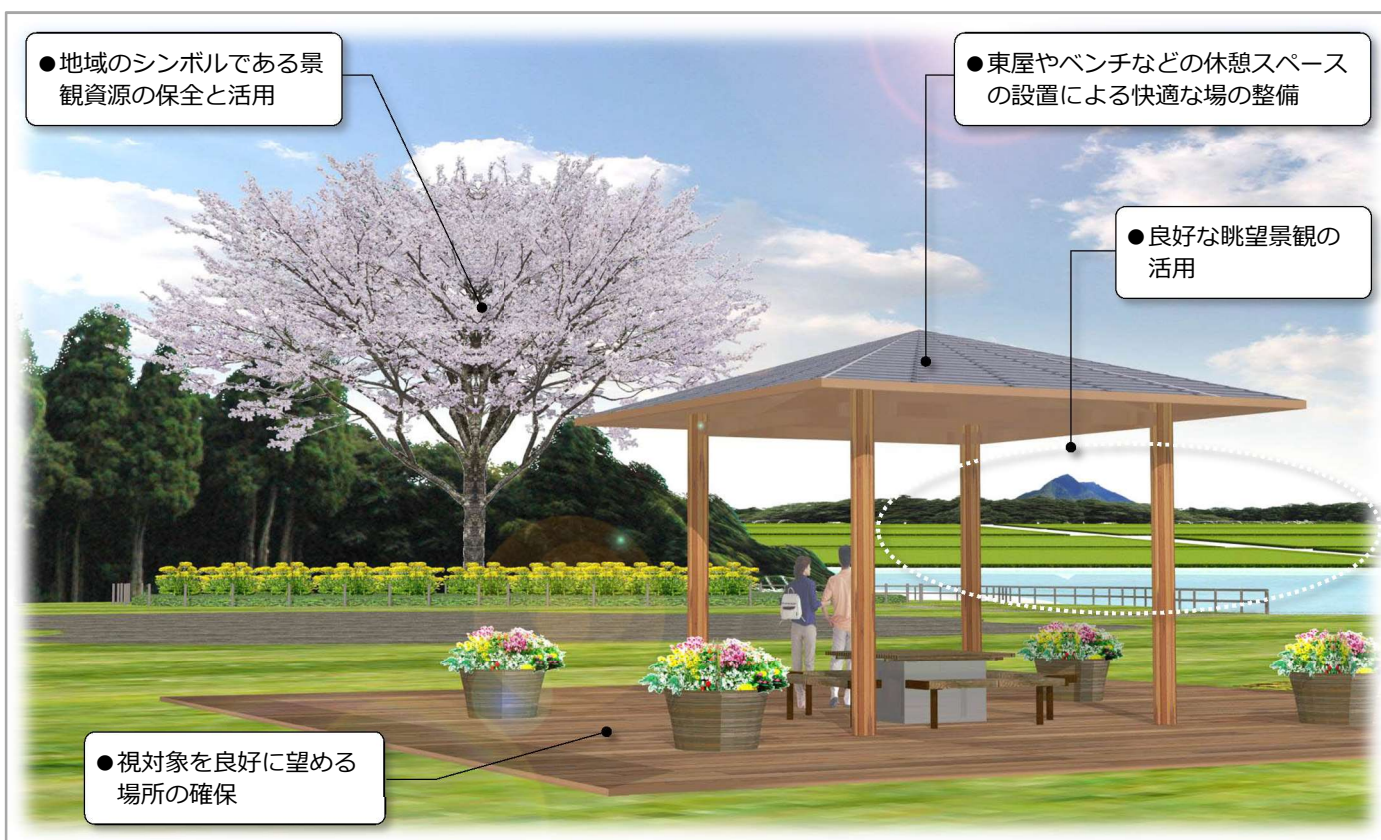
1. シンボルとなる景観資源の保全

- 新・印西八景の景観の維持・保全に配慮する。
- 景観の形成にあたっては、宝珠院観音堂（光堂）や栄福寺薬師堂、木下貝層、道作古墳群などの文化財に配慮する。
- 吉高の大桜など、巨樹・古木の景観の維持・保全に配慮する。
- 地域のシンボルとなる景観は、地域の住民・団体などにより保全・活用を図る。
- 地域の祭りや風物詩など、伝統文化の景観の伝承を図る。

2. 快適な視点場の景観形成

- 大六天や徳性院、利根川の堤防、牧の原公園のひょうたん山などのように、良好な眺望が得られる場所を確保するとともに、立寄りやすく、快適な場づくりに配慮する。

④景観形成のイメージ図



⑤特色のある事例



成田市（飛行機を望む視点場）



佐倉市（印旛沼を望むサンセットヒルズ）



香取市（水辺の眺望の味わいと風物詩である舟めぐり）